

平成28年7月26日

自動車局整備課

三菱ふそうトラック・バス(株)製の大・中型バスについて 車両床下部の腐食に関する無料点検を速やかに受けてください

三菱ふそうトラック・バス株式会社（以下「ふそう」）は、大・中型バスのうち、独立懸架式構造で概ね製造後10年目以上（製造年が平成19年以前）のバスについて、車両床下部の錆による腐食に関し、同社系列の販売店において無料点検を開始しました。

腐食が進行すると最悪の場合、ハンドル操作が不能となりますので、対象車両の使用者は、速やかに無料点検を受けてください。

1. 不具合の内容【別紙1参照】

- 大・中型バスの車両床下部において、適切な点検・整備が実施されていないため錆が発生して腐食が進行すると、部材の板厚の減少や穴あきに至り、強度低下による破断・破壊が発生します。
- 特に、独立懸架車において、フロントタイヤハウス部のセンターメンバーが腐食すると、最悪の場合、ロアアームが脱落してハンドル操作が不能となります。これまで人身事故が3件発生しています。

2. ふそうによる無料点検等の内容【別紙2参照】

- ふそうはホームページへ点検要領書等を掲載したほか、平成28年4月開始のサービスキャンペーンにより、同社製バスの使用者に対し、車両床下部の点検等と呼び掛けています。
- 今般同社は、未だ点検結果が分からない車両（11,626台）を中心に、点検の促進・徹底を図るため、以下のとおり対応することとしました。
 - 販売会社からの連絡に加え、同社にコールセンターを設置し8月19日までに使用者へコンタクト
 - 同社系列の販売店において、無料点検を実施（10月末までを無料期間に設定）

3. 国土交通省の対応【別紙3参照】

国土交通省では、これまでも事故発生の度にバス事業者に対し点検を呼びかける等してきましたが、本日改めて関係者（バス事業者等、整備事業者、（独）自動車技術総合機構、各地方運輸局及び運輸支局等）に対して、適切な点検整備の速やかな実施、及び所要の対策等の通知を行いました。

○添付資料

- 別紙1 不具合の内容
- 別紙2 ふそうによる無料点検等の内容
- 別紙3 国土交通省の対応
- 別紙4 三菱ふそうトラック・バスの大・中型バスの
車両床下部の腐食点検について（国自整第127号）
- 別紙5 同上（国自整第127号の2）
- 別紙6 同上（国自整第127号の3）
- 別紙7 同上（国自整第127号の4）
- 別紙8 同上（国自整第127号の5）

<お問い合わせ先>

自動車局整備課 平川、玉屋

TEL：03-5253-8589（直通）

TEL：03-5253-8111（代表）、内線 42426

FAX：03-5253-1639

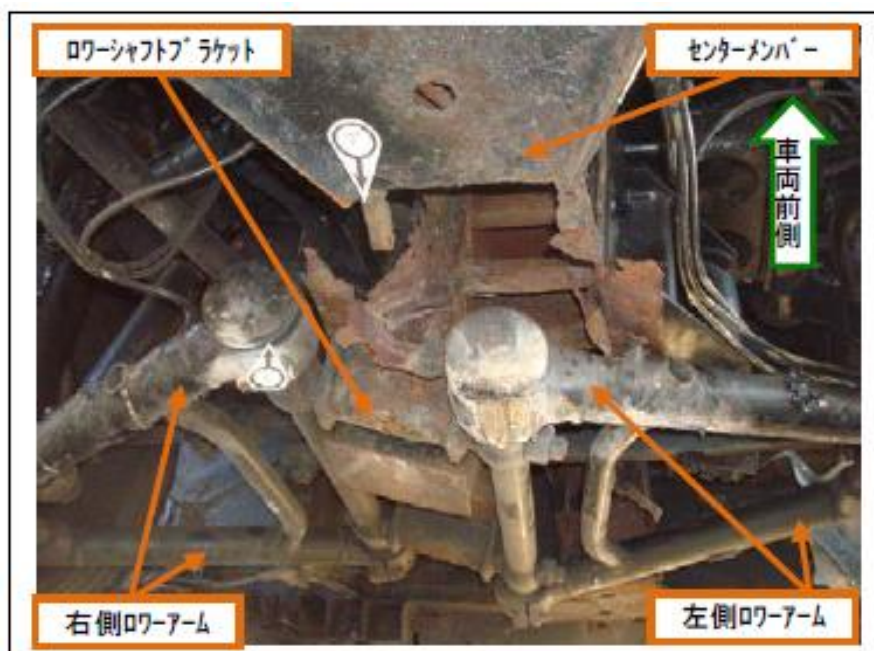
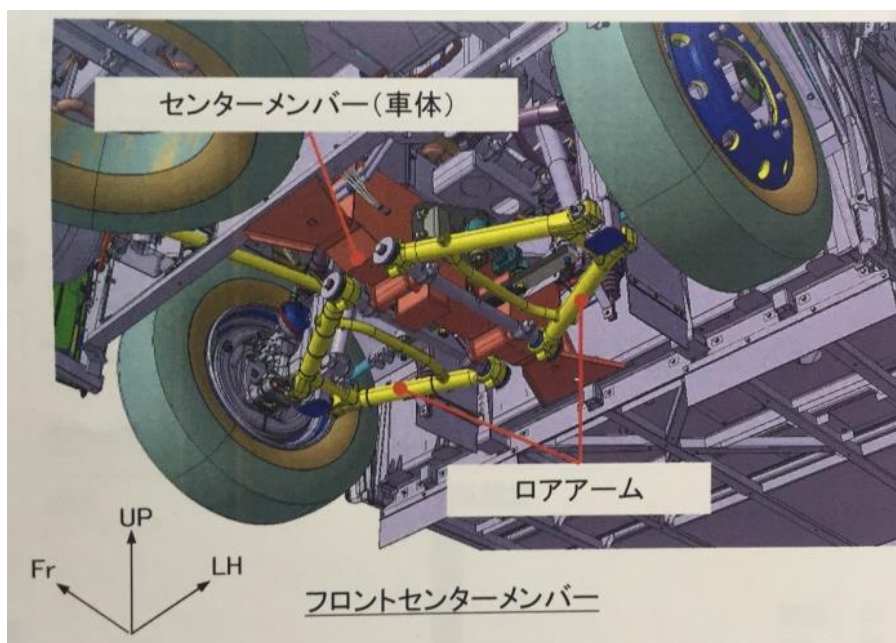
不具合の内容

- 大・中型バスの車両床下部（フロントタイヤハウス部又はリヤタイヤハウス部）において、適切な点検・整備が実施されていないため錆が発生して腐食が進行すると、部材の板厚の減少や穴あきに至り、強度低下による破断・破壊が発生します。
- 特に、独立懸架車において、フロントタイヤハウス部のセンターメンバーが腐食すると、最悪の場合、ロアアームが脱落してハンドル操作が不能となります。これまでハンドル操作不能の不具合情報は 8 件あり、人身事故が 3 件発生（※）しています。

【※】平成 25 年 11 月 1 日発生（乗客 5 名軽傷）、平成 26 年 10 月 24 日発生（巻き込んだ車両の運転手軽傷）、平成 27 年 11 月 12 日発生（乗客 1 名重傷、6 名軽傷）

独立懸架車の不具合の例

センターメンバーが腐食するとロアアームが脱落しハンドル操作が不能となる。



ふそうによる無料点検等の内容

- ふそうはホームページへ点検要領書等を掲載（※1）したほか、平成28年4月開始のサービスキャンペーン（※2）により、昭和52年12月～平成28年4月に生産された、大型バス「エアロバス」「エアロスター」「エアロエース」「エアロクイーン」「エアロキング」（車両）及び中型バス「エアロミディ」の使用者に対し、定期点検項目「車枠及び車体」の緩み及び損傷の点検方法として1年に一回の打音点検によることを追加したメンテナンスノートの追補版と点検実施要領をダイレクトメールで配布するとともに、車両床下部の点検を呼び掛けています。対象車両は84,561台でありうち登録状態にあるのは38,897台です。

【※1】 ふそうの関連ホームページ

- バスのフレームを錆から守る整備術（使用者様向け）

<http://www.mitsubishi->

[fuso.com/core/pdf/jp/service/service/ForUserBusUnderFloorMaintenance.pdf](http://www.mitsubishi-fuso.com/core/pdf/jp/service/service/ForUserBusUnderFloorMaintenance.pdf)

- 三菱ふそうバス車両床下の防錆点検と補修要領（整備者様向け）

<http://www.mitsubishi->

[fuso.com/core/pdf/jp/service/service/160512_BusUnderFloorMaintenance.pdf](http://www.mitsubishi-fuso.com/core/pdf/jp/service/service/160512_BusUnderFloorMaintenance.pdf)

- 三菱ふそうバス車両床下の防錆点検と補修要領（簡易版）

<http://www.mitsubishi->

[fuso.com/core/pdf/jp/service/service/160512_SimpleBusUnderFloorMaintenance.pdf](http://www.mitsubishi-fuso.com/core/pdf/jp/service/service/160512_SimpleBusUnderFloorMaintenance.pdf)

【※2】 ふそうの関連ホームページ

- 平成28年3月24日【サービスキャンペーン】 ふそうエアロミディ、エアロバス、エアロエース、エアロスター、エアロクイーン、エアロキングの緩衝装置（緩衝装置の取付部）に関するサービスキャンペーンについて

http://www.mitsubishi-fuso.com/jp/news/recall/160324/SC160324_02.html

- このサービスキャンペーンに併せ、特に点検の必要性の高い製造年が平成19年以前の独立懸架車14,788台について、同社系列の販売店が電話又は訪問により使用者へコンタクトを行い、点検の実施を呼びかけるとともに結果の把握を行ってききましたが、点検結果が把握できたのは3,162台であり、うち33台は運行停止が必要な状態（保安基準不適合状態）にありました（平成28年7月10日現在）。なお、当該33台は地方運輸局等を通じ運行停止等の対応が取られていることを確認済みです。
- 今般同社は、未だ点検結果が分からない車両11,626台を中心に、点検の促進・徹底を図るため、以下のとおり対応することとしました。
 - 販売会社からの連絡に加えて、同社にコールセンターを設置し8月19日までに使用者へコンタクト
 - 同社系列の販売店において、無料点検を実施（10月末までを無料期間に設定）

製造年	独立懸架車	その他
平成 20 年～28 年	5,299 台	18,810 台
平成 19 年以前	14,788 台 (点検結果把握 3,162 台。うち運行停止要が 33 台)	
合計	38,897 台	

国土交通省の対応

国土交通省では、これまでも事故発生の度にバス事業者に対し点検を呼びかける等してきましたが、本日改めて関係者に対して通知を行いました。概要は、以下の通りです。

- ① バス事業者等への通知概要（公益社団法人日本バス協会を通じ通知又は運輸支局等から通知する）
 - サービスキャンペーンの対象の大・中型バスについて、車両床下部の点検を適切に実施すること。
 - 特に、製造年が平成 19 年以前の独立懸架車についてコールセンターから無料点検の案内があった場合には、販売店と調整の上、速やかにこれに応ずること。
 - 点検の結果、運行停止が必要な状態（保安基準不適合状態）にあるときは、修理が完了するまで運行を中止すること。

- ② 整備事業者への通知概要
 - サービスキャンペーンの対象の大・中型バスについて、下回りの点検又は車検を行う場合には、ふそうが公表している「三菱ふそうバス車両床下の防錆点検と補修要領（整備者様向け）」を参考に適切に対応すること。

- ③ 独立行政法人自動車技術総合機構への通知概要
 - サービスキャンペーンの対象の大・中型バスの検査をする場合には、点検ハンマーによる打音検査等により車両床下部の錆による腐食の有無を確認するなど、適切な検査に遺漏のないこと。

- ④ 各地方運輸局及び運輸支局等への通知概要
 - 国土交通省自動車局整備課では、ふそうから運行停止が必要な状態（保安基準不適合状態）の車両の情報を随時入手し、関係する地方運輸局等に通知するので、修理が完了するまで運行を中止するようバス事業者等を指導すること。